

(別紙)

成果の説明書

(氏名)	中村 匡克	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
(1) 研究活動			
・都市計画やまちづくりの考え方と公共選択の視点の関係について整理することに重点をおいて研究を進めてきた。			
(2) 教育活動			
・講義では、従来の一方通行型の講義スタイルから脱却することを目指し、ディスカッションを中心とした双方向型の講義スタイルへの転換を心がけた。			
・講義では、講義内容に関する質問・感想を受講生に書いてもらい、次回の講義において回答（リプライレターとして配布）した。			
・演習では、他ゼミと合同で夏合宿を実施し、演習時間だけでは提供できない学生指導に取り組んだ。			
・演習では、公共選択「学生の集い」（他大学とのプレゼン・討論）に参加して、演習時間だけでは提供できない学生指導に取り組んだ。			
・修士論文の作成指導にあたっては、演習の時間外の時間もつかい、データ分析の方法や論文の書き方等について指導を行った。			
(3) 社会貢献活動			
・吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会の座長として会議に出席し、検証結果のとりまとめを行った。			
・吉岡町補助金等審査委員会の座長として会議に出席し、審査結果のとりまとめを行った。			
・群馬県大規模小売店舗立地審議会の委員として現地調査や会議に参加し、新規出店等の適正について審議を行った。			
・ぐんま3R推進会議の委員として会議に出席し、学術的見地から発言した。			
(4) 学会活動			
・日本計画行政学会の学術賞選考委員会の幹事として、同委員会の運営を支えた。その後、同学会の理事となったことから理事会に出席した。			
・日本地域政策学会の理事として、理事会に出席した。あわせて、同学会の編集委員会の副委員長として、機関紙『日本地域政策研究』（年2号発行）の編集を担った。			
2 その他の事項			
・教務委員会の副委員長として会議に出席した。また、授業担当者会議に参加し、非常勤の先生方にカリキュラムの説明と学部の方針について説明した。			
3 次年度以降の計画・抱負			
研究に関しては、これまで取り組んできた研究内容をより深め、とりまとめる活動を行っていく予定である。一方、公共選択の視点に重点をおきながら、地域政策の基礎理論となるような考え方の整理を進めていきたい。			
講義に関しては、ディスカッションを中心とした双方向型の講義スタイルへの転換を進めてきたが、より魅力的な講義の提供ができるようスキルアップを図っていきたい。なお、学生からの質問・感想をリプライレターとして返す作業は引き続き行いたい。			